

# 鳥取城を歩く—山下ノ丸編—

## 世界文化遺産・姫路城の“弟城” 江戸時代の鳥取城二ノ丸の姿



1879年(明治12)撮影

山下ノ丸の中心であった二ノ丸の建物は、姫路城から移った池田光政の頃の創建と考えられ、祖父池田輝政が姫路城大天守(兵庫県姫路市)を築いた際の職人達関わったと想定されます。この頃、幕府による築城規制があったため、鳥取城内には、高層の櫓はありませんが、二ノ丸三階櫓は、山陰地方で初めての層塔型の櫓とされ、山頂の天守焼失後の象徴でした。また、姫路城大天守が築かれてから約10年後、同じ職人達によって再整備された鳥取城二ノ丸の姿は、世界文化遺産・姫路城の“弟城”とも言えるものでした。

鳥取県立博物館



### 日本100名城スタンプ公式押印場所

ガイドン施設「鳥取城跡・仁風閣 展示館」

鳥取城跡や仁風閣の映像やパネル展示のほか、御城印も販売しています。

【日時】9:00~17:00

【入館料】無料

【休館日】月曜(月曜が祝日のとき翌平日)、祝日の翌日、年末年始

【ガイド】とっとり観光ガイド友の会「きなんせえ家」

土日祝のみ(夏、冬期休あり)

【問い合わせ先】0857-26-3595 (鳥取城跡・仁風閣 展示館)

P 普通車 6台  
 標章車 2台  
 バス 1台



久松山の山麓にあたる山下ノ丸は、鳥取藩三十二万石の居城だった頃の面影を今に伝えています。また、近代以降の都市の記憶を示した遺構も残っています。

見学制限エリア ※工事の進捗によって制限エリアが広がる場合があります。

駐車場  
 「くる梨 緑コース」バス停  
 「ルーフ麒麟獅子」バス停  
 自販機  
 撮影ポイント  
 休憩棟

P 普通車 67台  
 ハートフル専用 2台